

2022 年度活動助成 活動実績報告書

| | |
|-------|------------------------------------|
| 団体名 | 特定非営利活動法人オリーブの家 |
| 活動テーマ | 支援者、被害者コミュニティ構築のためのセミナー及びカンファレンス活動 |



【目的】

- ①被災者心理を理解し、被災者の心に寄り添ったボランティア活動ができる
- ②コミュニティを構築し、広義のこころのケアを実施する

【目的の詳細】

- ①被災者心理を理解し、被災者の心に寄り添ったボランティア活動ができる
西日本豪雨災害の際にシェルターを解放し、被害に遭われた母子家庭の方を保護する活動を行った。その経験や実際に被災現場で心理カウンセラーとしてボランティア活動をしてきた心理士の方から話を伺い、被災者の心理を学び心に寄り添えるボランティア活動を行うこと、それを継続するための自分自身の心の持ち方あり方を学び、ボランティア活動を継続していくことの重要性を感じたため。
- ②コミュニティの力を活用し、できるだけ多くの被災者が「お互いにつながっている」という実感を得られるように支援する必要があると思います。これは支援される側だけではなく、支援する側も双方がコミュニティを構築していく仕組みを作り出すことが求められていると感じたため。

【成果】

- ①心理の専門家による被災者心理を学びボランティアを継続するためのセミナー
- ②支援団体や専門家、被害者コミュニティ構築のためのカンファレンス

【成果の詳細】

- ①災害被災者心理を学ぶことにより、被災者が求めていること、状などをより理解でき、心により沿ったボランティア活動ができる。それにより、被災者自身の心のケアも進み、復興も早く進むよう手助けができる方法を得たという声が多くあった。
- ②コミュニティの力を活用して、できるだけ多くの被災者や支援者が「お互いにつながっている」という実感を得られるようにすることで今後の活動にもつながり、被害を受けて方々に注目した支援活動がしやすいコミュニティを構築できたのではと考えている。